

高等学校職業教育ビジョン推進事業（教育プログラム開発）実施要項

1 趣旨

令和3年度新規事業「高等学校職業教育ビジョン推進事業」として、職業教育プログラムの開発・実践を行う高校（以下「開発実践校」という）の選定やその実施に必要な事項を定める。

2 目的

地域や産業界から求められる人材の育成に必要な実践的な職業教育の推進のため、県内企業等の魅力の発見等による職業理解や起業家精神の醸成、即戦力となる実践力の養成等に繋がる職業教育プログラムの開発・実践を行い、その成果を広く周知し、県内高等学校の職業教育の一層の充実を図る。

3 主題

研究テーマ（主題）は、これまでの職業教育に関する実践事例や次に示す内容等を参考に、高等学校に還元できるテーマを取り上げ、職業教育推進コーディネーターや地域の企業・大学等から構成する開発チーム等で協議のうえ、決定する。

なお、主題及び内容等については、既に行われているキャリア教育や総合的な探究の時間、学科の取り組み等を含めて計画・実施することも可とする。

【普通科系高校】

(1) 「職業発見・自己開発プログラム」の開発・実践

明確な目的意識をもった進学や職業を意識した進路選択が行えるよう、県内の職業・企業を知る機会や職業体験等を通して、社会変革期を生きる多分野の職業について学び、自らの適性や可能性の発見に繋げ、職業選択の幅を拓げるプログラムを開発する。

(2) 「起業・事業承継研究プログラム」の開発・実践

コロナ禍において新たな市場の開拓が求められる社会情勢のなかで、新分野進出へのチャレンジ意欲を喚起するとともに、機械電子産業をはじめとする製造業や宝飾業等の様々な伝統産業の担い手を育成するためのプログラムを開発する。

【職業科系高校】

(3) 「革新技術実践プログラム」の開発・実践

5GやDXの進展等に見られる産業構造の変化等に伴い、地域や産業界から求められる変化に柔軟に対応できる力が身に付けられるよう、工業系高校で、大学教授や企業の開発担当者等にアドバイザーとしてサポートを受けながら、先端分野の課題研究を行い、実践力や応用力を養うプログラムを開発する。

(4) 「異業種理解プログラム」の開発・実践

SNS等による販路開拓やVRを用いた品質管理等に見られるように、異業種での技術の活用が新たなビジネス展開の創出に繋がることを視野に、専門学科の各系列等の開発実践校で、各系列以外の分野の実践を踏まえた職業講話等を行い、新たな着想に繋げるプログラムを開発する。

- 4 開発期間
令和3年度の1カ年間とする。
- 5 開発実践校の選定・指定数
 - ・3の(1)または(2)から開発実践校を4校選定
 - ・3の(3)から開発実践校を6校(韮崎工業高校、甲府工業高校、甲府城西高校、峡南高校、都留興譲館高校、富士北稜高校)指定し、3の(4)から開発実践プログラムを約5校(上限20プログラムまで)選定
- 6 開発・実践校の選定基準等
 - ・①地域や学科の特性、②実効性、③普及可能性の観点から総合的に評価を行う。
 - ・県のホームページにおいて、選定校を公表する。
 - ①地域や学科の特性を活かしたプログラムを優先する。地域や学科に偏りなく選定されるよう配慮する。
 - ②職業教育を実践する際に普及が期待できるプログラムを優先する。実証効果をあげるため具体的な工夫が明示されている提案等を高く評価する。
 - ③開発実践校の特性を踏まえながらも、広く成果・課題等を共有・普及できるプログラムを優先する。スピード感を持って実行できる提案を高く評価する。
- 7 開発実践校の運営等
 - (1) 3の(1)、(2)の開発実践校は、校内に、教員や企業等の有識者、職業教育推進コーディネーター等を含めたプログラム開発チームを設置する。
 - (2) 3の(3)の開発実践校は、アドバイザーの支援を受けながら課題研究を行う、3の(4)の開発実践校は、有識者を招いての実践的な職業講話等を行う。
 - (3) プログラムの開発や実践にあたっては、講師等として企業や大学等の有識者を招聘する等により、積極的に意見を取り入れるものとする。
- 8 開発実践校の申請手順並びに実践の報告
次の3点を山梨県教育委員会教育長に提出するものとする。
 - (1) 指定申請書(様式1)、開発計画書(様式2)、経費支出計画書(様式3)等
ー 提出時期:令和3年4月末(指定校には指定通知書(様式4)を送付)
 - (2) 開発ビジョンシート(様式5)
ー 提出時期:令和3年6月末
 - (3) 成果報告書(様式6)、アンケート(様式7~10)集計等
ー 提出時期:令和4年2月末その他 (1)~(3)の内容について、電話やメール等で確認を行うことがある。
代表的な取り組みは、状況に応じて、県の実践発表会等で成果発表を行う。
- 9 実践研究に対する支援
 - (1) 実践費の助成
職業教育ビジョン推進事業の範囲内において、開発実践校のプログラム開発・実践に必要な講師の招聘等に係る予算の便宜を図る。
 - (2) 職業教育推進コーディネーターによる支援
コーディネーターを高校改革・特別支援教育課に1名配置し、プログラム開発支援や外部機関等との連携、講師の派遣、企業等との連絡・調整等を行う。

様式1（第8関係）

年 月 日

山梨県教育委員会 御中

学 校 名

学校長名

印

職業教育プログラム開発実践校の指定申請書

山梨県立〇〇〇〇学校は、山梨県立高等学校における職業教育プログラム開発実践校の指定について、下記のとおり申請します。

記

- 1 開発実践校として取り組む教育プログラム（該当種別に○印）
 - （1）職業発見・自己開発プログラム
 - （2）起業・事業承継研究プログラム
 - （3）革新技術実践プログラム
 - （4）異業種理解プログラム

- 2 開発する教育プログラムの概要
 - （1）開発計画書（様式2）（必要に応じてイメージ図添付）
 - （2）経費支出計画書（様式3）

- 3 その他

様式2 (第8関係)

令和3年度 職業教育プログラムの開発計画書

学校名			
所在地			
電話番号			
FAX 番号			
校長名			
研究主任名			
教員数			

学年 (年次)				
学級数				
男				
女				
計				

1 指定種別 (教育課程 生徒指導 進路指導)

2 主題 「 」

3 主題設定の理由

--

4 研究計画の概要 (必要に応じてイメージ図添付)

--

様式3 (第8関係)

経費支出計画書 (〇〇〇〇プログラム) (イメージ)

高等学校名: _____

(単位:円)

項目	積算内容	事業費	資料番号

注1) 「職業教育ビジョン推進事業」(R3年度予算)では、各プログラムにつき、外部講師への謝金(⑥,500円)と旅費(①,320円)が計上されています(※上限有り)。

※予算の上限額は下記のとおり

(1) 職業発見・自己開発プログラム … 1校あたり 93,840円

・プログラム開発費用: 2名×3回×(6,500円+1,320円) = 46,920円

・プログラム実践費用: 6名(6分野)×(6,500円+1,320円) = 46,920円

(2) 起業・事業承継研究プログラム … (1)と同様

(3) 革新技術実践プログラム … 1校あたり 31,280円

・課題研究実践費用: 1名(アドバイザー)×4回×(6,500円+1,320円) = 31,280円

(4) 異業種理解プログラム … 1校あたり 31,280円

・4名(農業、工業、商業、家庭・福祉、普通科系から選択)×(6,500円+1,320円) = 31,280円

注2) 計画が採択されても、全ての経費が支給される訳ではありませんが、既存のキャリア教育や総合的な探究の時間、学科の取組み等を含めて実施することは可能です。

職業教育プログラム開発実践校指定通知書

山梨県立〇〇〇〇〇学校

年 月 日付けで指定申請のあったこのことについては、高等学校職業教育ビジョン推進事業実施要項に基づき、貴校を職業教育プログラム開発実践校とすることに決定しましたので、通知します。

年 月 日

山梨県教育委員会教育長



様式5 (第8関係)

職業教育ビジョンシート (〇〇〇〇プログラム) (イメージ)

高等学校名 : _____

現 状	
課 題	
目 標	
成果指標	

会議種別	回・時間	日 時	会議・検討内容	参加者・外部委員・講師等
検討会				
授業実践				

様式6（第8関係）

成果報告書（イメージ）

提出部数 2部（別に担当用に3部、高校改革・特別支援教育課に提出）

規格など A4版縦置き、書式は縦36行×横40字程度
横書き、5枚程度（若干の枚数増減も可）

記載事項

○見出しなど

研究主題

学校名、校長名、学校所在地

I 学校概要（当該年度5月1日現在の状況を記入、表で示す）

1 課程・学科別、男女別生徒数

2 教職員数

3 教育課程編成状況

II 研究成果の要旨

1 研究のねらい

2 実践の成果と問題点

3 今後の課題

（注）小項目の見出し記号は（1）－ア－aの順で用いる。

4 その他

参考資料など

別途成果のまとめやその他の参考資料を作成している場合は、各1部添付すること。

様式7-1 (第8関係)

職業教育プログラム評価シート (生徒用) (例)

<令和3年度 職業教育プログラム (①職業発見・自己開発プログラム)>

高等学校 年 組 番 ()
活動内容
実施日 (活動日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
実施場所 (会場等)
(感想・意見など) このプログラムをとおして自分の意識や行動がどのように変わったか、どのような点が自分にとってプラスになったか、できるだけ具体的にご記入願います。
(感想・意見など) 今後、地元の企業等の理解を深めたり、自分の適性や可能性を発見したりする際に、どのようなプログラムを勉強したいと思いますか。できるだけ具体的にご記入願います。

※ この用紙は、担当の先生に提出してください。

様式7-2 (第8関係)

令和3年度 職業教育アンケート (①職業発見・自己開発プログラム) (例)

今後、高校でよりよい職業教育を推進するために、アンケートへのご協力をお願いします。本年度、体験した「職業発見・自己開発プログラム」を振り返り(1番印象に残ったものを思い出してください)、以下のアンケートの当てはまる番号に○をつけて回答してください。

回答は4段階で、特に指示がなければ以下の評価です。

4 強く思う 3 思う 2 やや思う 1 思わない

- | | | | | |
|--|-------------------|---|---|---|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 このプログラムに積極的に取り組みましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 2 このプログラムは有意義(満足)でしたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 3 このプログラムを通じて意識が変わりましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 4 このプログラムを通じてインターンシップなどに参加する機会が増えましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 5 このプログラムを通じて、自分の適性や良い所などを知る(発見)することができましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 6 このプログラムを通じて、地域にある企業などについて理解を深めることができましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 7 このプログラムは、山梨県や地域社会で働く魅力を知る機会となりましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 8 このプログラムは、将来、山梨県で働くという選択肢を増やす機会となりましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 9 このプログラムの後、学習へ積極的になりましたか? | ----- ----- ----- | | | |

10 このプログラムの前と後で家庭学習時間はどのように変化しましたか?

おおよその時間を右口内に記入してください。

- 記入例① 1. 5時間 → 2時間
 ② 1. 5時間 → 1. 5時間
 ③ 1. 5時間 → 1. 0時間 等



ご協力ありがとうございました。

様式8-1 (第8関係)

職業教育プログラム評価シート (生徒用) (例)

＜令和3年度 職業教育プログラム (②起業・事業承継研究プログラム)＞

高等学校 年 組 番 ()
活動内容
実施日 (活動日) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日
実施場所 (会場等)
(感想・意見など) このプログラムをとおして自分の意識や行動がどのように変わったか、どのような点が自分にとってプラスになったか、できるだけ具体的にご記入願います。
(感想・意見など) 今後、新たな分野などで起業にチャレンジしたり、地域産業の担い手となったりする際に、どのようなプログラムを勉強したいと思いますか。できるだけ具体的にご記入願います。

※ この用紙は、担当の先生に提出してください。

様式8-2 (第8関係)

令和3年度 職業教育アンケート (②起業・事業承継研究プログラム) (例)

今後、高校でよりよい職業教育を推進するために、アンケートへのご協力をお願いします。本年度、体験した「起業・事業承継研究プログラム」を振り返り(1番印象に残ったものを思い出してください)、以下のアンケートの当てはまる番号に○をつけて回答してください。

回答は4段階で、特に指示がなければ以下の評価です。

4 強く思う 3 思う 2 やや思う 1 思わない

- | | 4 | 3 | 2 | 1 |
|--|---|---|---|---|
| 1 このプログラムに積極的に取り組みましたか? | | | | |
| 2 このプログラムは有意義(満足)でしたか? | | | | |
| 3 このプログラムを通じて意識が変わりましたか? | | | | |
| 4 このプログラムを通じて県内で起業することに
関心を持つ機会となりましたか? | | | | |
| 5 このプログラムを学んで県内での起業(社内ベン
チャー含む)に挑戦してみたいと思いましたか? | | | | |
| 6 このプログラムを通じて県内にどのような伝統
産業があるのかを知る機会となりましたか? | | | | |
| 7 このプログラムを学んで伝統産業で働いてみたい
と思うようになりましたか? | | | | |
| 8 このプログラムは、将来、山梨県で起業や伝統産業
の継承などを考える機会となりましたか? | | | | |
| 9 このプログラムの後、学習へ積極的になりましたか? | | | | |

10 このプログラムの前と後で家庭学習時間はどのように変化しましたか?

おおよその時間を右口内に記入してください。

- 記入例① 1. 5時間 → 2時間
 ② 1. 5時間 → 1. 5時間
 ③ 1. 5時間 → 1. 0時間 等



ご協力ありがとうございました。

様式9-1 (第8関係)

職業教育プログラム評価シート (生徒用) (例)

<令和3年度 職業教育プログラム (③革新技術実践プログラム) >

高等学校 年 組 番 ()
活動内容
実施日 (活動日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
実施場所 (会場等)
(感想・意見など) このプログラムをとおして自分の意識や行動がどのように変わったか、どのような点が自分にとってプラスになったか、できるだけ具体的にご記入願います。
(感想・意見など) 今後、先端技術に触れる機会を増やしたり、学んだ知識を新分野で応用したりする際に、どのようなプログラムを勉強したいと思いますか。できるだけ具体的にご記入願います。

※ この用紙は、担当の先生に提出してください。

様式9-2 (第8関係)

令和3年度 職業教育アンケート (③革新技術実践プログラム) (例)

今後、高校でよりよい職業教育を推進するために、アンケートへのご協力をお願いします。本年度、体験した「革新技術実践プログラム」を振り返り(1番印象に残ったものを思い出してください)、以下のアンケートの当てはまる番号に○をつけて回答してください。

回答は4段階で、特に指示がなければ以下の評価です。

4 強く思う 3 思う 2 やや思う 1 思わない

- | | 4 | 3 | 2 | 1 |
|--|---|---|---|---|
| 1 このプログラムに積極的に取り組みましたか? | | | | |
| 2 このプログラムは有意義(満足)でしたか? | | | | |
| 3 このプログラムを通じて意識が変わりましたか? | | | | |
| 4 このプログラムを通じて先端技術に触れる機会が増えたと思いますか? | | | | |
| 5 このプログラムを通じて県内で先端技術を扱う企業等を知る機会が増えたと思いますか? | | | | |
| 6 このプログラムを学んで学習した知識を新分野で応用・実践してみたいと思いませんか? | | | | |
| 7 このプログラムを学んで先端技術を使った課題研究に引き続き取り組みたいと思いませんか? | | | | |
| 8 このプログラムは、将来、山梨県で先端技術を使いながら働くことを考える機会となりましたか? | | | | |
| 9 このプログラムの後、学習へ積極的になりましたか? | | | | |

10 このプログラムの前と後で家庭学習時間はどのように変化しましたか?

おおよその時間を右口内に記入してください。

- 記入例① 1. 5時間 → 2時間
 ② 1. 5時間 → 1. 5時間
 ③ 1. 5時間 → 1. 0時間 等



ご協力ありがとうございました。

様式10-1 (第8関係)

職業教育プログラム評価シート (生徒用) (例)

＜令和3年度 職業教育プログラム (④異業種理解プログラム)＞

高等学校 年 組 番 ()
活動内容
実施日 (活動日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
実施場所 (会場等)
(感想・意見など) このプログラムをとおして自分の意識や行動がどのように変わったか、どのような点が自分にとってプラスになったか、できるだけ具体的にご記入願います。
(感想・意見など) 今後、自分の系列以外の分野を学ぶ際に、どのようなプログラムを勉強したいと思いますか。できるだけ具体的にご記入願います。

※ この用紙は、担当の先生に提出してください。

令和3年度 職業教育アンケート (④異業種理解プログラム) (例)

今後、高校でよりよい職業教育を推進するために、アンケートへのご協力をお願いします。本年度、体験した「異業種理解プログラム」を振り返り(1番印象に残ったものを思い出してください)、以下のアンケートの当てはまる番号に○をつけて回答してください。

回答は4段階で、特に指示がなければ以下の評価です。

4 強く思う 3 思う 2 やや思う 1 思わない

- | | | | | |
|---|-------------------|---|---|---|
| | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 1 このプログラムに積極的に取り組みましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 2 このプログラムは有意義(満足)でしたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 3 このプログラムを通じて意識が変わりましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 4 このプログラムを通じて異業種に触れる機会が増えたと思いますか? | ----- ----- ----- | | | |
| 5 このプログラムを通じて専門以外の知識や経営者として見識を拡げることが出来たと思いますか? | ----- ----- ----- | | | |
| 6 このプログラムで学習した知識を、あなたの専攻する分野で活用してみたいと思いませんか? | ----- ----- ----- | | | |
| 7 このプログラムを通じて、異業種への理解を深めることが新たな着想に繋がると思いませんか? | ----- ----- ----- | | | |
| 8 このプログラムは、将来、山梨県で様々な分野に学びながら働くことを考える機会となりましたか? | ----- ----- ----- | | | |
| 9 このプログラムの後、学習へ積極的になりましたか? | ----- ----- ----- | | | |

10 このプログラムの前と後で家庭学習時間はどのように変化しましたか?

おおよその時間を右口内に記入してください。

- 記入例① 1. 5時間 → 2時間
 ② 1. 5時間 → 1. 5時間
 ③ 1. 5時間 → 1. 0時間 等



ご協力ありがとうございました。